

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【公開番号】特開 2002-370949 (P2002-370949A)
【公開日】平成 14 年 12 月 24 日 (2002.12.24)
【出願番号】特願 2001-177375 (P2001-177375)
【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 7/13
A 6 1 K 7/135
D 0 6 P 3/08

【F I】

A 6 1 K 7/13
A 6 1 K 7/135
D 0 6 P 3/08

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 30 日 (2004.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

酸化剤と混合して使用される脱色剤組成物であって、(a)アンモニアとアンモニウム塩との少なくとも一方、(b)アルカノールアミン、(c)エステル型非イオン性界面活性剤及び(d)水を含有することを特徴とする脱色剤組成物。

【請求項 2】

酸化剤と混合して使用される染毛剤組成物であって、(a)アンモニアとアンモニウム塩との少なくとも一方、(b)アルカノールアミン、(c)エステル型非イオン性界面活性剤、(d)水及び(e)染料を含有することを特徴とする染毛剤組成物。

【請求項 3】

成分(a)の含有量がアンモニア換算で 0.08 ~ 0.98 重量%である請求項 2 に記載の染毛剤組成物。

【請求項 4】

成分(b)の含有量が 2.0 ~ 6.0 重量%である請求項 2 又は請求項 3 に記載の染毛剤組成物。

【請求項 5】

成分(c)の含有量が 1.5 ~ 10.0 重量%である請求項 2 から請求項 4 のいずれか一項に記載の染毛剤組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

次に、前記実施形態から把握できる技術的思想について以下に記載する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0069

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0070

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0070】

(3) さらに炭酸カリウムと炭酸グアニジンとの少なくとも一方を含有する請求項2から請求項5のいずれか一項に記載の染毛剤組成物。この構成によれば、毛髪に明度をより付与することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0071

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0071】

(4) 非イオン性界面活性剤とカチオン性界面活性剤との少なくとも一方を含有する酸化剤と混合して使用される請求項2から請求項5及び上記(3)のいずれか一項に記載の染毛剤組成物。この構成によれば、非イオン性界面活性剤を含有することにより、刺激臭をより低減することができる。また、カチオン性界面活性剤を含有することにより、毛髪の感触をより良好にすることができる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0072

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0072】

(5) 成分(a)のアンモニウム塩は、塩化アンモニウムとして含有される請求項2から請求項5及び上記(3)から上記(4)のいずれか一項に記載の染毛剤組成物。この構成によれば、アンモニウム塩を染毛剤組成物に容易に配合することができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 3 】

(6) 成分 (b) はモノエタノールアミンである請求項 2 から請求項 5 及び上記 (3) から上記 (5) のいずれか一項に記載の染毛剤組成物。この構成によれば、毛髪に明度をより付与することができる。

【 手続補正 1 0 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 8 7

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 8 7 】

請求項 5 に記載の発明の染毛剤組成物によれば、請求項 2 から請求項 4 のいずれか一項に記載の発明の効果に加え、刺激臭をより一層低減することができる。

【 手続補正 1 1 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 8 8

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】